

## 食料科学委員会 畜産学分科会（第25期・第4回）議事録要旨

1. 日 時 令和4年3月20日（日）10:00～10:50
2. 場 所 ビデオ会議
3. 出 席 眞鍋昇（二部会員）、枝重圭祐、柏崎直巳、木村直子、後藤貴文、  
東村博子、遠野雅徳、吉澤緑（連携会員）、菊地和弘（特任連携会員）  
欠 席 小澤壯行、山下恭広（連携会員）

### 4. 議事

以下、眞鍋委員長の進行で行った。

#### （1）定足数の確認

9名が出席し、分科会は成立した。

#### （2）前回（第25期・第3回会議）の議事録要旨案の承認

第25期第3回分科会の議事録要旨案を確認後、承認した。

#### （3）報告事項

##### A. 公開シンポジウムの開催について

眞鍋委員長より、本日第4回畜産学分科会の後に開催される日本学術会議食料科学委員会畜産学分科会主催の公開シンポジウム「グリーン・デジタルによる持続的食料生産：環境保全型DX支援放牧のポテンシャル」（3月20日（日）13:00～17:30）への各会員の出席について依頼があった。世話人の後藤会員より、約150名の出席希望があった旨の報告があった。

##### B. 第25期二部会からの報告

眞鍋委員長より、これまでは分科会単位で発出していた对外報告や記録など（科学的な事柄について、各部、各委員会又は各分科会が行った審議の結果を一般公表するもの）について、今後は上部部会がテーマの選定や発出元とする流れに変更するか、従来のボトムアップ型とするか、協議中である旨の報告があった。

##### C. 日本畜産学アカデミーの活動について

第25期第3回畜産学分科会では、昨今の感染症蔓延下でのオンライ

ンを利用した日本畜産学アカデミー総会の開催や、事務局移動の必要性に対応するための日本畜産学アカデミーの規約改正案について協議され、概ね了承された。この規約改正案について、令和4年3月13日に、日本畜産学アカデミー会長である矢野秀雄先生より、畜産学アカデミー会員に向け、メールあるいは郵送にて審議の依頼中であることが報告された。

#### (4) その他

- ・ 2022年度の公開シンポジウム予定について、意見交換がなされた。
- ・ 眞鍋委員長より、上部部会では、第26期の会員の推薦制について、学会推薦制、会員推薦制、科研費のデータシステムを利用など諸処検討中である旨の報告があった。地方と中央、年齢、男女、国立大・私立大、所属がアカデミック機関か民間会社かなど、それぞれのバランスを考慮することは大切であろうし、畜産学分科会の会員構成は、概ねバランスが取れているなどについて、意見交換がなされた。
- ・ 次回の分科会の開催について  
次回の公開シンポジウムの企画の協議に合わせ開催予定であり、改めて日程調整を行う。

#### 配信資料：

- ・ 資料1：
  - 1) 本学術会議畜産学分科会（第25期・第4回）議事次第
  - 2) 畜産学分科会第25期・第3回会議議事録要旨案
  - 3) 公開シンポジウム「生活に身近な One Health：食品から検出される薬剤耐性菌の現状」の趣意書・ポスター

本分科会にあたっては、休日開催であったため、丸山恵子参事官（審議第一担当）付第2部担当は欠席。

以上